

教員名：川村幸夫	教員所属学科：非常勤講師
科目名：Listening & Writing I / 英語 I	
<p>アンケート結果は全学平均より下回っていました。PC を積極的に使う授業を心がけましたが、肯定的意見と否定的意見と二分していました。解説などはわかりやすさを心がけていましたが、評価は分かれています。また、エドクラテスで事後学習や復習を受講生が自発的に行うことを期待していましたが、全学平均並に低かったのが意外な結果でした。今後は受講生が復習を積極的に行う動機付けに工夫をしていく必要があると思います。</p>	

教員名：川村幸夫	教員所属学科：非常勤講師
科目名：米文学史	
<p>アンケート結果はほぼ全学平均と重なっていました。授業に関しては肯定的意見がほとんどだったので満足しています。ただ、事前準備や復習にかかる時間が、全学平均と同じように、低かったのが少々気になります。今後は、事前学習や事前の調査を受講生が行うように工夫をしてきたいと考えています。</p>	

教員名：福田一彦	教員所属学科：人間心理学科
科目名：睡眠の心理学 I (睡眠の心理学)	
<p>この科目は選択科目であり、取りたい学生が取っている科目であるので、評価もその分、有利であったと思う。実際、授業自体の評価を表す項目 9 から項目 19 までの評価は、全学平均をすべて上回っている。必修ではないが、登録者数は 68 名、アンケート実施時に回答した (つまり出席していた) 人数は、56 名 (約 82%)、そのうち 3 年生が 49 名、4 年生が 7 名であるので、3 年生の約半数がこの授業を受けていることになる。睡眠の心理学という科目は他の大学にはほとんどない。おそらく、広島大学、広島国際大学の他は専任教員が行う睡眠心理学に関する授業は国内では本学のみだろう。このような事もこの授業が選択科目でありながら一定の受講者がいる理由の一つであろう。また、この授業は「睡眠改善インストラクター」資格試験の基幹科目となっており、毎年、本学の学生も受験している。今年度も 17 名が受験した。毎年、本学の学生は 7 割以上の合格率を誇っている。今後もがんばってほしい。</p> <p>さて、自由記述欄には「元々興味がある内容だったので、楽しみながら講義を聴くことが出来ました。」「睡眠に関して知ることが出来るのでとても良いと思う。」「配布資料の画像の読みにくい部分を直していただけたらありがたいです。」の 3 つの記述があった。画像の読み取りにくい部分とは、解像度の問題なのだろうと思うが、これについては、なるべく改善していきたいと考えている。</p>	

教員名：吉田一康	教員所属学科：非常勤講師
科目名：企業と法 I	
<p>全般的に、平均値の高い評価をして頂き、受講者の皆様に感謝致します。ただし、設問 13 「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」が 4.3 の評価であったことから、今後は、特に板書について配慮が必要と思いました。もともと悪筆ということもあり、綺麗な文字は書けませんが、大きくて見やすい文字を書くように心掛けようと思います。</p> <p>設問 5 「教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組みをおこなった」の評価が 4.1 及び設問 6 「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が 2.8 だった点については、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを与えて、予習や復習を習慣づける工夫が必要と考えました。</p> <p>学生の受講態度については、遅刻者と居眠りがややみられますが、講義中は、毎回、驚くほど静かで真面目なものでした。</p>	